



鳴滝通信

～夢や希望をもって自ら学ぶ鳴滝生～

令和7年9月1日
京都市立鳴滝総合支援学校
校長 高田 加寿子

夏休みが終了し、8月25日（月）から前期後半の学習が始まりました。今年も猛暑となりましたが、素敵な夏休みが過ごせたでしょうか。

元気な挨拶をして登校してきた皆さんからは、夏休みの思い出や一人一人が取り組んだことについて、学年や学級でたくさん話を聞くことができました。

前期後半には毎日の学習、演習や実習のほか、学校祭に向けての取り組みも行われます。お互いに協力し合い、より一層充実した学校生活を送っていきましょう。

全校集会が行われました

8月25日、全校集会が行われました。いよいよ前期後半のスタートです。夏休みは終わりましたが、まだまだ気温も高く、オンラインでの全校集会となりました。学校長の話を姿勢よくしっかりと聞く姿に、これから意気込みを感じることができました。



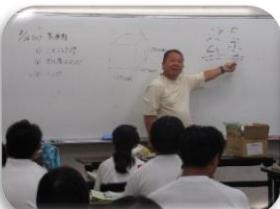
クリーニング師試験対策講座開講

8月19日、本年度のクリーニング師試験に向けての開講式が行われました。専門教科「家政」より高等部2年生5名が10月5日の試験まで学科と実技の習得に一生懸命取り組みます。



授業が始まりました！

授業が再開し1週間、子どもたちはいろいろな活動に取り組んでいます。また、この夏休みの間にタブレット端末が新しくなりました。最初の設定などもみんなでおこない、すっかり今まで使っていたタブレット端末と同じように使うことができています。



学校際に向けて

10月30日・31日に開催予定の学校祭に向けて、生徒会のメンバーを中心に、内容や進行方法について話し合いを進めています。児童生徒が主体となり、自ら考え、創り上げる学校祭となるよう、教職員も温かく見守りながら支援してまいります。

当日は、ぜひご参観いただければ幸いです。



